

令和8年5月22日

ゆげでらあと
史跡由義寺跡 整備工事現地公開

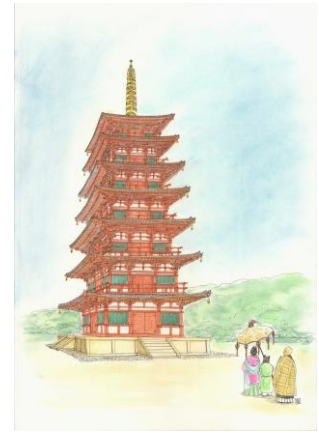
～国内最大級！七重塔基壇復元中～

日本の正史である『続日本紀』に登場するも”幻の寺”とされてきた由義寺。その場所が発掘調査で明らかになった大発見からおよそ10年、令和10年度中に予定されている史跡とガイダンス施設の公開に向け、整備工事を進めている現地の状況を公開します。

由義寺は八尾出身の僧・弓削道鏡と、仏教を重視した称徳天皇が建立した奈良時代のお寺です。神護景雲3年（769年）、称徳天皇により、平城京の副都・西京の設置が進められたことにあわせて、造られた官営寺院と考えられます。

平成28年の発掘調査において、大量の瓦と一辺約21mの正方形の塔の基壇（建物の基礎となる土盛り）が見つかり、平成29年に八尾市3件目の国史跡に指定されました。史跡指定以降、6次にわたる発掘調査で基壇の構造などが判明し、その成果をもとに令和7年度から4カ年の計画で史跡整備事業を始めました。

史跡整備の中心となる全国最大級の塔基壇復元の、今しか見られない姿をご覧くださいませ。



国史跡 由義寺跡

(イメージ図)

【整備工事現地公開 概要】

- 日時 令和8年6月6日（土）13～15時
（開場12時50分）雨天決行
- 場所 史跡由義寺跡（東弓削三丁目）
- 内容
 - ・史跡整備工事の状況や、これまでの発掘調査成果について解説
 - ・15分程度の解説を4回実施
①13時、②13時半、③14時、
④14時半)
 - ・古代衣装と出土品（瓦や切石）を展示



【本件に関するお問い合わせ】

八尾市 魅力創造部 観光・文化財課

住所：八尾市本町一丁目1番1号

電話：072-924-8555